

英米文化研究 I

2 単位 (選択) 2 年 (前期)

吉田 文美・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】 英語詩を講読し、韻文で書かれたテキストの正確な読解、内容把握の訓練を行う。また、作品の時代や社会状況といったコンテキストについても考慮し、英語詩の評価・批評がおこなえる基礎を養成する。

【授業概要】 主に 18 世紀以降に書かれた英語詩を読む。作品の精読を通じて、英語で書かれた詩に対する理解を深め、作品の背景にある社会・文化状況についても考察する。

【キーワード】 *poetry in English*, 文学

【到達目標】

1. 授業で取り上げた詩については、正確な内容把握ができる。
2. 各作品の背景についても考慮して、作品の評価・批評が論理的にできる。

【授業計画】

1. 以下にあげる詩人の作品の中から比較的平易なものを選び、毎回 3~5 編ずつ講読する予定です。学期中に 2 回のテストを行いますが、詳しい日程は最初の授業で指示します。
2. W. H. Auden (1907-73), William Blake (1757-1827), Elizabeth Bishop (1911-79),
3. John Clare (1793-1864), Austin Clarke (1896-1974), e. e. cummings (1894-1962)
4. Emily Dickinson (1830-86), Robert Frost (1874-1963), Thomas Hardy (1840-1928)
5. Seamus Heaney (1939-), Ted Hughes (1930-1998), Patrick Kavanagh (1904-67),
6. John Keats (1795-1821), D. H. Lawrence (1885-1930), Norman Maccaig (1910-1996),
7. Sylvia Plath (1932-63), W. B. Yeats (1865-1939)
8. なお、取り上げる詩人については、変更されることもある。

【成績評価】 2 回のテストと、授業への出席・参加状況などから総合的に評価する。評価のうち、テストを 8 割、その他を 2 割程度とする。

【再試験】 行わない。

【教科書】 授業中に指定します。

【参考書】 『リーダーズ英和辞典』またはそれと同等の収録語数を有する英和辞典を使用すること。電子辞書の使用も可。その他は、授業中に必要に応じて指示する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218405>

【連絡先】

⇒ 吉田 (1N10, 088-656-7124, ayami@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 11:55-12:50)